

承認番号	4302
研究課題名	C型肝炎の抗ウイルス治療後の予後に対するヘリコバクターピロリ感染の影響に関する調査
研究の意義・目的	近年、直接作用型慢性C型肝炎治療薬によって90%以上の患者でウイルスの除去（SVR）が達成されるようになり、多くの患者で肝障害・線維化の改善が見込めるようになりました。しかし、ウイルス除去後の場合であっても、肝癌などの肝疾患が進行する場合があります。どのような特性のある方が、肝癌を発症しやすいのかについても、未だ解明されていません。そこで本研究では、以前に施行した「C型肝炎に対する抗ウイルス治療後の予後に関連する生活習慣の調査」に加えて、肝疾患進展とヘリコバクターピロリ感染との関連を検討します。
研究を行う期間	倫理審査承認後～2023年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2015年より施行している「C型肝炎に対する抗ウイルス治療後の予後に関連する生活習慣の調査」でアンケート調査にご協力戴いた方が対象です。
お願いする内容	<p>■大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>通常診療で過去に採取され、当院で保存されている血液を用いて、ヘリコバクターピロリ抗体の有無を測定します。</p>
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 准教授 大藤さとこ
代表施設のURL	大阪市立大学大学院医学研究科 http://www.med.osaka-cu.ac.jp/
研究の成果を公表する方法	匿名化し、医学学会・医学雑誌などにおいて調査結果を発表する予定です。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	電話対応（電話番号：06-6645-3756） 所属 名：公衆衛生学教室 担当者名：大藤さとこ、松浦知香